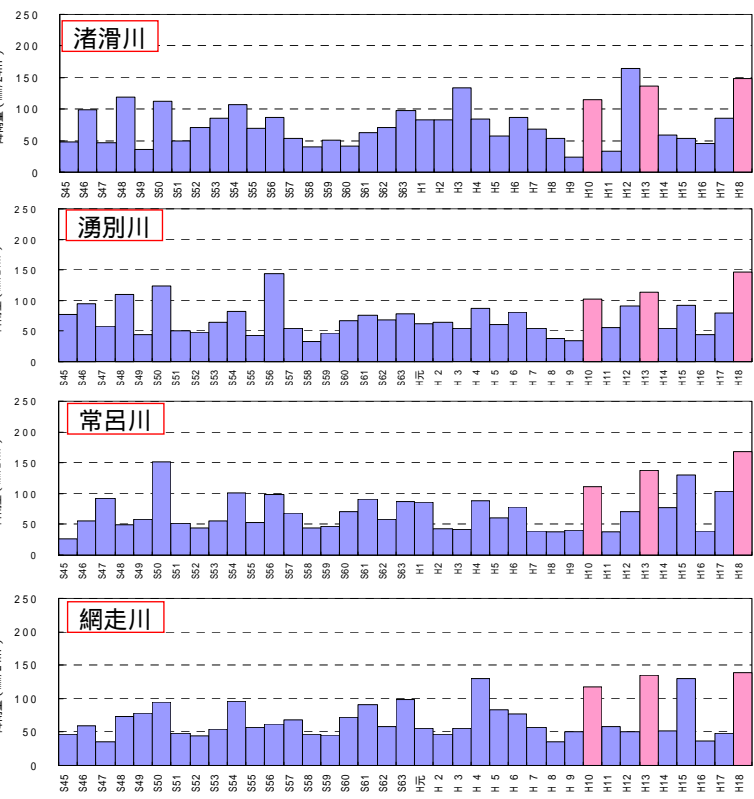
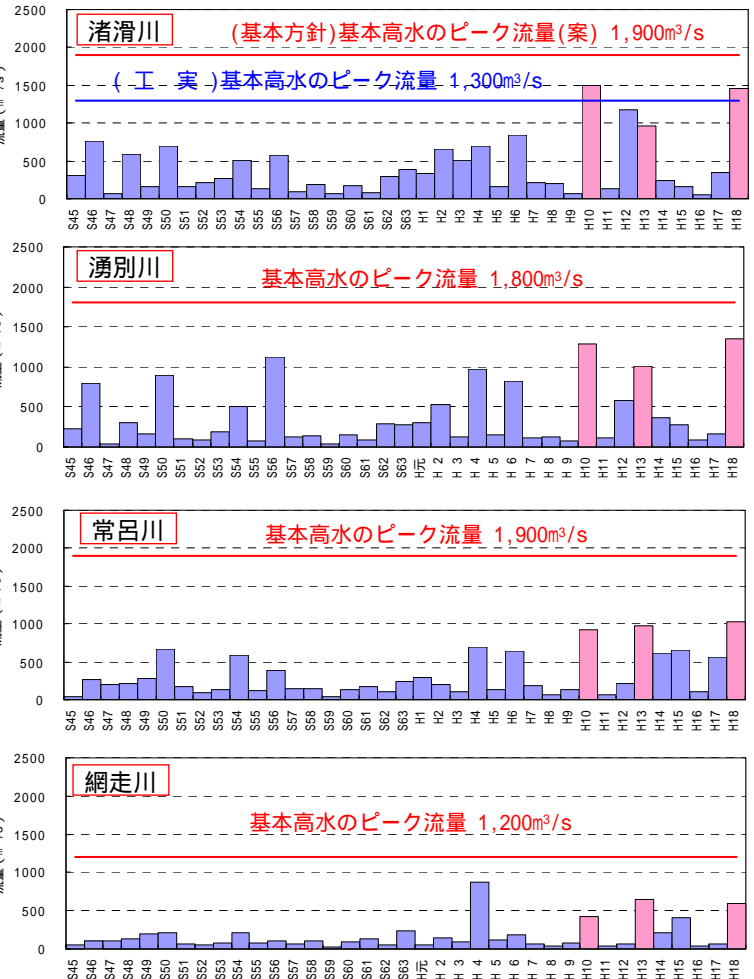


年最大24時間雨量の経年変化

既定計画策定以降(S45~H18)で渚滑川、湧別川、常呂川、網走川の年最大24時間雨量を比較すると、降雨量の経年的な傾向は概ね類似



年最大流量の経年変化

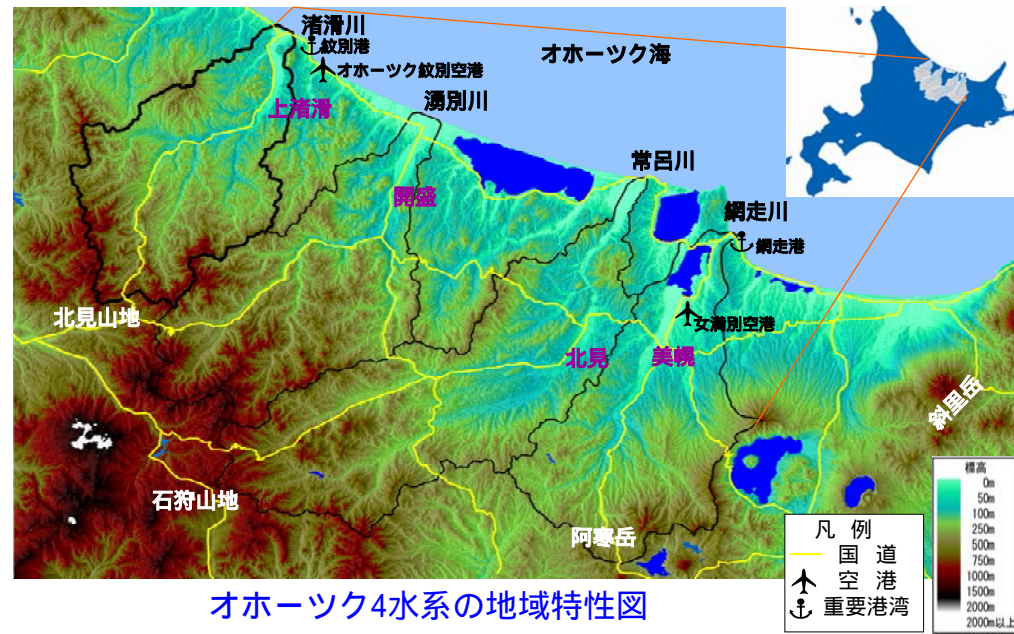


オホーツク海に注ぐ4河川(渚滑川、湧別川、常呂川、網走川)では、同じような雨の降り方をしているのではないが、今回基本高水のピーク流量を1,300m³/sから1,900m³/sに増やしているが、これまでの被害状況等を鑑みると、このような流量とする理由をもう少し説明すべき。また、改修方式は輪中堤などで家屋を守るなどの方法はとらないのか

オホーツク海に注ぐ4河川は、上流部に1,000m~2,000mの山が並び、流域と流域を分断するような大きな山がない。台風・前線の経路が、4流域の東側を通過する場合には、4流域で概ね同様に雨が降っている場合が多い。渚滑川の流量改定後の基本高水のピーク流量(1,900m³/s)の比流量は、他の3河川と同程度である。渚滑川流域には、中核都市である紋別市があり、近傍に紋別港、オホーツク紋別空港があるなど物流や交通の要衝となっていることからオホーツク圏として一体的に整備することが必要であり、計画規模を同規模とすることが必要。渚滑川では、すでに堤防の整備率が約90%で概ね概成しており、これから輪中堤等の対策を行うのは困難

地形特性と主要洪水の等雨量線図

4水系の流域は、北見山地、石狩山地、阿寒岳、斜里岳等の標高概ね1,000m~2,000mの山が上流部に並んでいる。流域と流域の間には、流域を分断するような大きな山はない。台風・前線の経路が、4流域の東側を通過する場合には、4流域で概ね同様に雨が降っている場合が多い



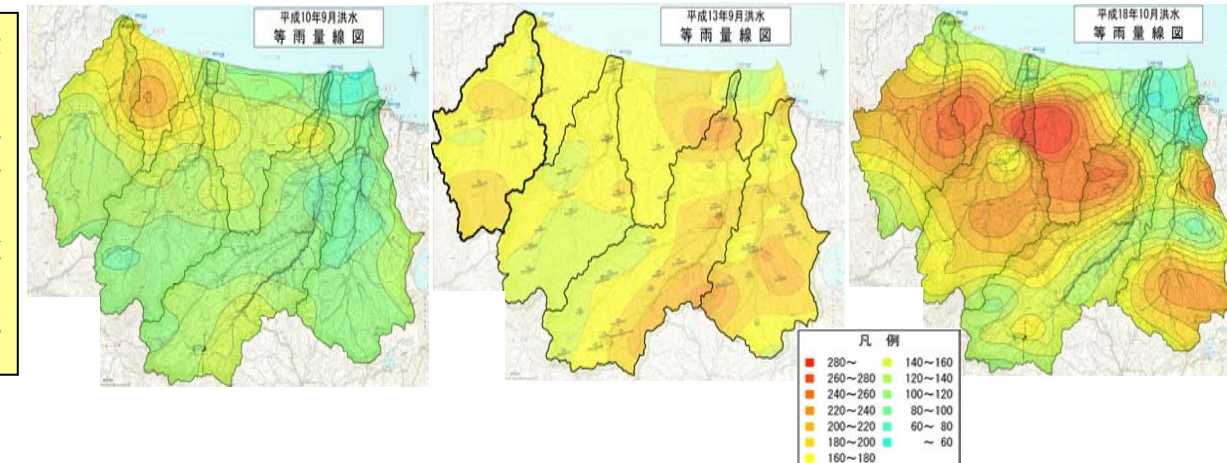
オホーツク4水系の地域特性図

等雨量線図(総雨量)

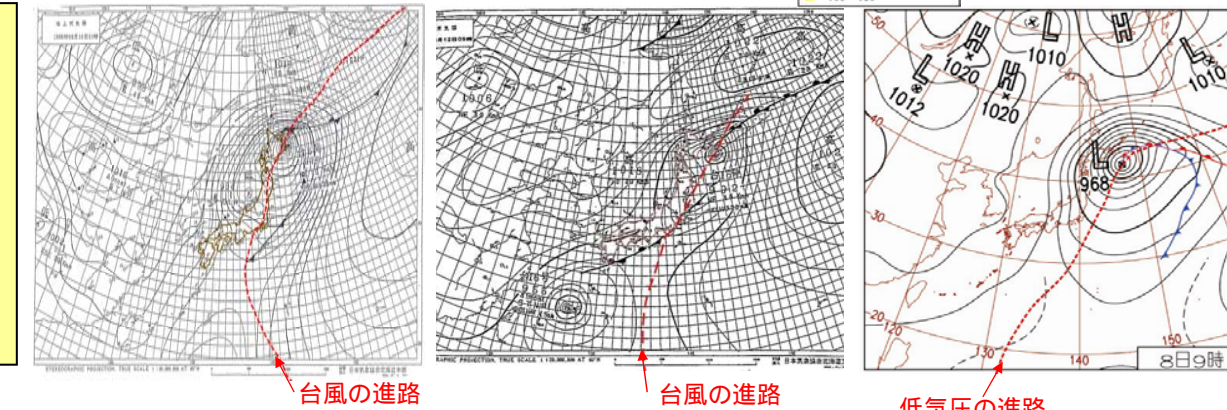
平成10年洪水(台風5号)

平成13年洪水(台風15号)

平成18年洪水(前線性)



天気図(台風進路図)

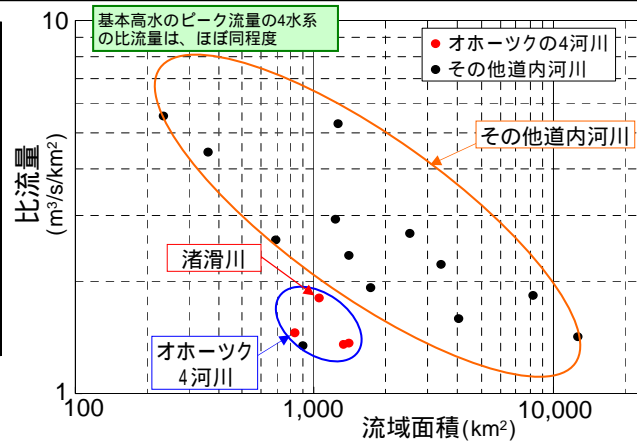


主要洪水の等雨量線図と天気図

4河川の比較

渚滑川の流量改定後の基本高水のピーク流量(1,900m³/s)の比流量は、他の3河川と同程度である。渚滑川流域には、中核都市である紋別市があり、近傍に紋別港、オホーツク紋別空港があるなど物流や交通の要衝となっていることからオホーツク圏として一体的に整備することが必要であり、治水の計画規模を同規模とすることが必要

Table comparing 4 rivers: 網走川, 常呂川, 湧別川, 渚滑川. Columns include watershed area, population, and peak flow data for various flood events.



堤防整備率

渚滑川では、堤防の整備率が約90%で概ね概成

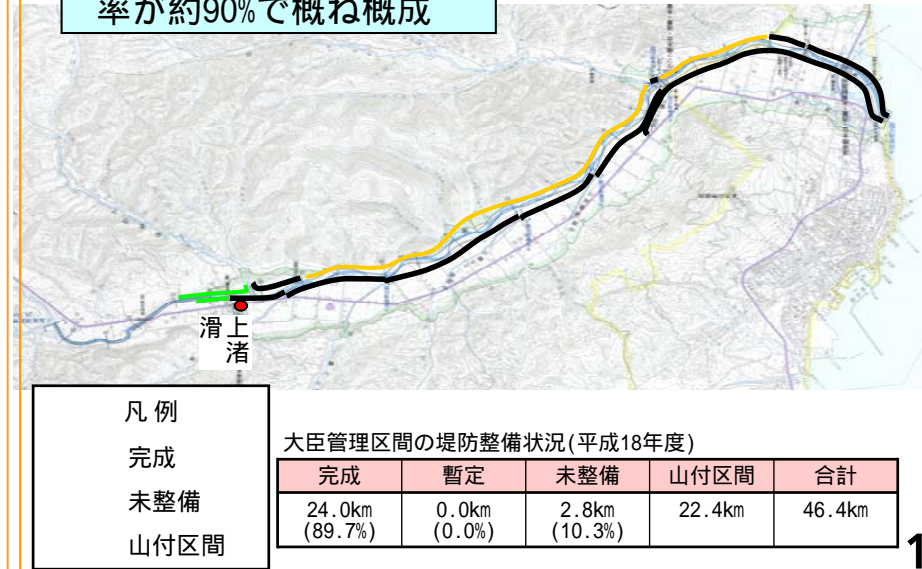


Table showing dike reinforcement status by district: 完成 (24.0km, 89.7%), 暫定 (0.0km, 0.0%), 未整備 (2.8km, 10.3%), 山付区間 (22.4km), 合計 (46.4km).

流域の汚水処理の整備状況と下水処理水の流末はどのようになっているのか

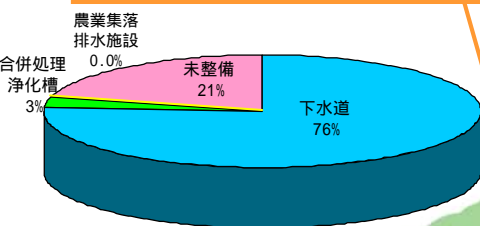
紋別市、滝上町とも下水道整備が主でその他は合併処理浄化槽となっている
滝上町の終末処理場はオシラネツ川へ、紋別市の終末処理場は流域外へ排水している

関係市町村汚水処理人口普及率の状況（H17年度末）

渚滑川流域の市町村の汚水処人口普及率の状況は、滝上町79%、紋別市89%となっている

滝上町（人口3千人）

汚水処理人口普及率79%



紋別市（人口27千人）

汚水処理人口普及率89%

